

整理番号
188

**事務事業評価表**  
**令和6年度実施事業**

部長	課長	係長	担当者

事業名	道の駅管理運営事業（再掲）				担当課	商工観光課		
業務名	道の駅管理運営業務				担当係	物産振興係		
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	観光			事業区分	指定管理		
主な取組	1	既存観光資源の充実			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	7	1	4	観光費			

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
市内の特産品や観光情報を発信するとともに、交流人口の拡大を図るため、道の駅の適正な管理を行います。

<b>対象【PLAN】</b>	道の駅を利用する人	<b>意図【PLAN】</b>	魅力あふれる商品をそろえ、伊達市の新鮮でおいしい農産物や地域資源を生かした料理や加工品を求めるお客様にぎわう。
-----------------	-----------	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
指定管理者と定期的に意見交換を行い、魅力あふれる道の駅の運営につながる適正な管理を行っていく。また、地域の特性や資源を生かした商品づくりを進めるよう管理していく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	22,300	13,128	19,000	15,300		
	その他	千円	1,700	2,591	4,193	3,351		
	一般財源	千円	38,227	63,254	50,501	47,047		
事業費合計		千円	62,227	78,973	73,694	65,698		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市産食材を利用した飲食商品数	品	実績値が目標値以上となること	目標値	57	59	65	70	75
			実績値	60	70			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	交流人口を拡大するため、核となる道の駅の適正な運営管理の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	道の駅の賑わいを創出するため、ここでしか買えない伊達市産品を利用した加工商品数増やしていくことは、魅力づくりに有効だと考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅の適正な管理運営のため、最小限の費用（指定管理料）で売り上げが上がるよう定期的なフェアやイベントを開催した。</li> <li>SNSなどを利用して費用を抑えた中で宣伝を行った。</li> </ul>

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と定期的に協議を重ね、適正な管理運営を行った。</li> <li>指定管理者の努力により、毎年新しい商品を展開し、陳列やポップも工夫するなどお客様ファーストで事業を展開した。</li> <li>慢性的な駐車場不足が課題である。</li> </ul>
--------	----	-------------------------	--

整理番号
189

事務事業評価表  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	霊山地区観光用施設管理事業				担当課	霊山総合支所		
業務名	-				担当係	地域総務係		
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			計画期間	令和6年度 ~ 令和7年度		
施策項目	5	観光			事業区分	指定管理		
主な取組	1	既存観光資源の充実			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	7	1	4	霊山地区観光用施設管理業務（観光）			

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
観光資源である霊山、茶臼山等の景観維持とその付属施設の維持管理を行う。

<b>対象【PLAN】</b>	市民及び利用客	<b>意図【PLAN】</b>	霊山や茶臼山等の景観維持と霊山地区にある観光施設の維持管理を目的とした事業
-----------------	---------	-----------------	---------------------------------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
施設の適正な管理と、さらなる誘客のため多方面にPRを行う（SNSの活用等）。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	17,400		
	その他	千円	22,484	62,474	0	3,578		
	一般財源	千円	3,464	4,822	4,544	68,645		
	事業費合計	千円	25,948	67,296	4,544	89,623		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
霊山こどもの村入場者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	27,000	33,000	34,000	35,000	35,000
			実績値	21,201	42,306			
			達成率	78.5%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	伊達市観光の中心地として景観維持・施設整備を行い、観光で訪れる皆様に満足度を高めることが、市のPRにも繋がるため事務事業の優先度高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	霊山こどもの村を中心に施設の再整備したこともあり、GWを中心に霊山こどもの村をでは大幅に来客数が伸びた。物価高もあり近隣の施設で子供を遊ばせたいというニーズに合ったものと思われる。子育ての面での社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	令和4・5年度に霊山こどもの村及び霊山山頂トイレの整備を行ったため、令和6年度は改修等を行わなかったが、総合政策課と連携し、霊山こどもの村施設内にビクレッターサインを設置した。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	霊山こどもの村においては、これまで継続して質の良いサービスを提供してきた結果、令和6年度は前年の倍の入園者数となった。ただし、GWは施設のキャパをオーバーし、危険な場面もあったため、混雑時の対応について事前に準備しておく必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
190

事務事業評価表  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）				担当課	商工観光課		
業務名	観光誘客推進事業（観光PRイベント）				担当係	観光振興係		
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	観光			事業区分	直営		
主な取組	1	既存観光資源の充実			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	7	1	4	観光物産振興事業			

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
市内の自然景観や歴史的資源、宿泊施設などの既存施設を活かした観光誘客を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	市外からの来訪者	<b>意図【PLAN】</b>	関係・交流人口増加のため
-----------------	----------	-----------------	--------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
来訪者受け入れ態勢の充実  
観光PR

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	240	240	342	342		
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097	74,758		
	事業費合計	千円	47,401	65,413	65,717	75,100		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
既存資源を活かしたイベント数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	6	7	8	8	8
			実績値	5	2			
			達成率	79.4%	28.9%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。伊達市の観光資源を活かし、市内に誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	令和6年度青空市場を「政宗フェス」としてリニューアルを図り、市外参加者の多いイベントと連携し672名の来場者があった。令和7年度はふくしまDC市内コンテンツと連携したイベントを開催する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	あぶ急ウォークや阿武隈急行基地イベントと連携により、広告については連携団体の協力を得られた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	各地域の観光拠点からの回遊性促進のため、観光イベントの実施や新たな体験型観光商品を創出し地域活性化を図る必要がある。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
291

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	伊達食ブランド化推進事業			担当課	商工観光課
業務名	—			担当係	物産振興係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	観光		事業区分	補助
主な取組	1	既存観光資源の充実		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	7	1	4	観光費

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
伊達食のブランド化を図るため、伊達鶏の会が伊達鶏を生かした地域の賑わいの創出や伊達鶏の魅力を発信する取り組みを支援し、地域振興や交流人口の向上、市民のシビックプライドの醸成を図る。

<b>対象【PLAN】</b>	伊達鶏の会員店舗数	<b>意図【PLAN】</b>	首都圏の人気飲食店で使用される伊達鶏の産地であるが、市民の推奨度、認知度が高い状況ではないため、伊達鶏の会の飲食店を増やし、伊達鶏を使った料理をご当地グルメとして地域振興につなげていく。
-----------------	-----------	-----------------	---

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
鶏料理の定番メニュー（焼き鳥、からあげ、ラーメンなど）のほか、伊達市でしか味わうことのできないオリジナルの共通メニューを開発し、伊達鶏が味わえる伊達鶏の会員店舗を増やすことで、ご当地グルメとして認知度を上げ、地域への定着や市民の推奨度の向上につなげ、賑わいの創出や誘客の向上に努める。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円			0	0		
	都道府県支出金	千円			0	0		
	地方債	千円			0	0		
	その他	千円			3,710	5,938		
	一般財源	千円			0	400		
	事業費合計	千円			3,710	6,338		

**(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】**

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達鶏の会員店舗数	店	実績値が目標値以上となること	目標値	—	10	12	14	16
			実績値	—	13			
			達成率	—	100.0%			

**(2) チェック項目による評価【CHECK】**

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	年間を通した市民に愛されるグルメ、市内の観光誘客につながる推奨グルメは求められていることから優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	地域の賑わい創出や誘客につなげるため、伊達市でしか味わえないご当地グルメを定着させることは有効だと考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財源としてふるさと納税クラウドファンディングを活用し、一般財源を使わない事業の進め方を行った。</li> <li>しっかり定着させるため、民間主導で事業展開に対して支援を行っている。</li> </ul>

**(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】**

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊達鶏の会の会員の店舗数は市内に13店舗あるが、伊達鶏の共通メニューの開発している段階で、令和7年に広めていく計画のため、実際には伊達鶏のメニューのある飲食店舗数は5店舗にとどまっている。今後、会員店舗数を増やすとともに伊達鶏メニューの展開を図っていく。</li> </ul>
--------	----	-------------------------	---

整理番号
191

**事務事業評価表**  
**令和6年度実施事業**

部長	課長	係長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）			担当課	商工観光課
業務名	観光誘客推進事業（入込客数）			担当係	観光振興係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	観光		事業区分	全部委託
主な取組	2	地域特性を活かした体験型の観光機能の強化		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	7	1	観光物産振興事業	

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
レンタサイクル事業や周遊手帳、霊山等の既存の体験型観光に加え関係人口・交流人口の拡大につながる新たな体験型観光機能を創出し、市内入込客数の増加を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	市外からの来訪者	<b>意図【PLAN】</b>	関係・交流人口増加のため
-----------------	----------	-----------------	--------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
来訪者受け入れ態勢の充実  
観光PR

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	240	240	342	342		
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097	74,758		
	事業費合計	千円	47,401	65,413	65,717	75,100		

**(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】**

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
入込客数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,895,000	1,970,000	2,500,000	2,750,000	3,000,000
			実績値	2,038,972	2,255,047			
			達成率	100.0%	100.0%			

**(2) チェック項目による評価【CHECK】**

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。伊達市の観光資源を活かし、市内に誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	ふくしまプレDCの開催により、基幹産業である農業を活かした体験型観光商品のモニターツアーの実施や阿武隈急行運転体験の実施など、今後の観光誘客促進の効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	市内事業者と連携し、効果的な周遊策を図れた。

**(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】**

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和8年度開催のふくしまDC（本番）に向けて、観光誘客のため市内事業者と連携した観光コンテンツ等の造成、磨き上げが必要となる。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
192

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	月館+cycle推進事業				担当課	月館総合支所
業務名	-				担当係	地域総務係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	観光			事業区分	一部委託
主な取組	2	地域特性を活かした体験型の観光機能の強化			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	2	1	17	地域づくり支援事業費	

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
・サイクルツーリズムと自転車活用の推進及び、つきだて花工房など周辺施設の一体的な利用を促進しながら、都市と農村の交流を通して地域の活性化を図ります。

<b>対象【PLAN】</b>	①サイクリスト ②市民	<b>意図【PLAN】</b>	①旧小手小学校簡易宿泊所がサイクルツーリズム及び、自転車活用推進の拠点となっている。 ②都市と農村の交流が活発となり、賑わいと集客を通して住民が生きがいをもちながら暮らしている。
-----------------	----------------	-----------------	--

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
大学や高校、サイクリングクラブ等へSNSを活用したPRや情報発信を積極的に行う。また、地域活動が活発になるよう施設の有効活用を図り、地域の団体等とともにイベントを企画・開催していく。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	-	13,384	0	0		
	都道府県支出金	千円	-	0	0	0		
	地方債	千円	-	44,900	0	7,600		
	その他	千円	-	543	2,181	0		
	一般財源	千円	-	16,097	29,984	24,231		
	事業費合計	千円	-	74,924	32,165	31,831		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
施設利用者	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,000	5,000	6,500	8,000	10,000
			実績値	3,679	10,202			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	隣接する月館運動場や近隣のつきだて花工房と一体的に活用することにより、市民のニーズ、社会的需要に対応できた。また、糠田地区の交流館機能も有し、自治組織主催の生涯学習講座も毎月開催され、市民に必要な施設となっている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	賑わい創出をめざし、市と地域住民が連携し、イベント開催や生涯学習事業を実施してきた。各事業ともに利用者の満足度が高く、次年度の賑わい創出事業の開催にもつなげることができた。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	施設管理の一部をつきだて振興公社に業務委託したことにより、費用の削減を図ることができた。また、業務委託先が宿泊事業のノウハウを有しているため、効率的に事業を実施することができた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	サイクリストの利用割合が15%未満に留まったが、スポーツ合宿やイベント来場者が多く、目標値を大幅に上回った。今後も月館運動場と連携したスポーツ合宿を積極的に受け入れるとともに、自転車イベント「フルベ」の受入強化を図る。また、地域住民と連携し賑わいづくりイベントを誘致し、地域活性化の拠点づくりを進める。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
193

事務事業評価表  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）			担当課	商工観光課
業務名	観光誘客推進事業（他県等でのPR）			担当係	観光振興係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	観光		事業区分	一部委託
主な取組	3	広域的な観光振興体制の充実		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	7	1	観光物産振興事業	

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
仙台バスツアーや姉妹都市との物産交流を図り広域的な観光振興を図ります。また、東北中央自動車道を活かした広域観光商品の開発を進めます。

<b>対象【PLAN】</b>	市外からの来訪者	<b>意図【PLAN】</b>	関係・交流人口増加のため
-----------------	----------	-----------------	--------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
来訪者受け入れ態勢の充実  
観光PR

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	240	240	342	342		
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097	74,758		
	事業費合計	千円	47,401	65,413	65,717	75,100		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
他県でのPR回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	3	4	4	4	4
			実績値	19	13			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。姉妹・友好交流都市や伊達氏ゆかりの地、他県でのPRを積極的に実施し誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	ふくしまプレDCの開催により、基幹産業である農業を活かした体験型観光商品のモニターツアーの実施や阿武隈急行運転体験の実施など、今後の観光誘客促進の効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	市内事業者と連携し、効果的な周遊策を図れた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和8年度開催のふくしまDC（本番）に向けて、観光誘客のため市内事業者と連携した観光コンテンツ等の造成、磨き上げが必要となる。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
195

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）			担当課	商工観光課
業務名	観光誘客推進事業（観光案内所）			担当係	観光振興係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	観光		事業区分	一部委託
主な取組	4	観光案内機能の強化		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	7	1	観光物産振興事業	

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
市内2箇所観光案内所を運営しバスツアー、姉妹都市との物産交流、レンタサイクル事業、周遊手帳、霊山新緑・紅葉まつり、特産品PRを実施し関係人口・交流人口の拡大と地域経済の活性化に繋がります。

<b>対象【PLAN】</b>	市外からの来訪者	<b>意図【PLAN】</b>	関係・交流人口増加のため
-----------------	----------	-----------------	--------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
来訪者受け入れ態勢の充実  
観光PR

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	240	240	342	342		
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097	74,758		
	事業費合計	千円	47,401	65,413	65,717	75,100		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
観光案内所利用件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	5,000	6,000	7,000	8,000	10,000
			実績値	13,309	13,892			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。姉妹・友好交流都市や伊達氏ゆかりの地、他県でのPRを積極的に実施し誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	ふくしまプレDCの開催により、基幹産業である農業を活かした体験型観光商品のモニターツアーの実施や阿武隈急行運転体験の実施など、今後の観光誘客促進の効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	市内事業者と連携し、効果的な周遊策を図れた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和8年度開催のふくしまDC（本番）に向けて、観光誘客のため市内事業者と連携した観光コンテンツ等の造成、磨き上げが必要となる。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
196

**事務事業評価表**  
**令和6年度実施事業**

部長	課長	係長	担当者

事業名	道の駅管理運営事業（再掲）				担当課	商工観光課		
業務名	道の駅管理運営業務				担当係	物産振興係		
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	観光			事業区分	指定管理		
主な取組	4	観光案内機能の強化			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	7	1	4	観光費			

目的と方針【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。							
事業概要【PLAN】	東北中央自動車道利用者に対し道の駅伊達の郷りょうぜんでの市内観光の案内、観光情報などの情報発信を行い、特産品PRを実施し関係人口・交流人口の拡大と地域経済の活性化に繋がります。							
対象【PLAN】	道の駅を利用する人			意図【PLAN】	道の駅に多くの人々が訪れ、賑わい、道の駅を拠点に市内の観光周遊に広がり、関係人口と交流人口の創出と、地域経済の活性化につながっている。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	伊達市の新鮮な農産物やここでしか買えない、食べられない商品開発などを通して、オンリーワンの道の駅づくりを行う。また、様々な企画やイベント等を開催し賑わいの創出と集客力の向上に努める。							

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	22,300	13,128	19,000	15,300		
	その他	千円	1,700	2,591	4,193	3,351		
	一般財源	千円	38,227	63,254	50,501	47,047		
事業費合計		千円	62,227	78,973	73,694	65,698		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
道の駅来場者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,350,000	1,400,000	1,500,000	1,550,000	1,600,000
			実績値	1,400,000	1,500,000			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	伊達市の農産物や特産品の販売や市内周遊観光の拠点となるのが道の駅となることから、物産販売や情報の発信の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	道の駅の来場者を増やすため、新鮮な農産物や、ここでしか買えない、食べられない商品開発を通してオンリーワンの道の駅づくりは有効だと考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅の適正な管理運営のため、最小限の費用（指定管理料）で誘客や売り上げの向上につながるよう状況把握に努め、指定管理者と連携を図った。</li> <li>SNSなどを利用して費用を抑えた中で宣伝を行った。</li> </ul>

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者と定期的に協議を重ね、適正な管理運営を行った。</li> <li>指定管理者の努力により、オンリーワンの道の駅づくりに励み、定期的にフェアやイベントを展開し、集客アップに努めた。</li> <li>慢性的な駐車場不足が課題である。</li> </ul>
--------	----	-------------------------	--

整理番号
197

**事務事業評価表**  
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）			担当課	商工観光課
業務名	観光誘客推進事業（観光情報発信）			担当係	観光振興係
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	観光		事業区分	一部委託
主な取組	5	情報発信の強化		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	7	1	観光物産振興事業	

**目的と方針【PLAN】**  
観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。

**事業概要【PLAN】**  
公式ホームページやSNS等による観光情報や物産情報の発信を行います。

<b>対象【PLAN】</b>	市外からの来訪者	<b>意図【PLAN】</b>	関係・交流人口増加のため
-----------------	----------	-----------------	--------------

**意図の実現のために必要なこと【PLAN】**  
来訪者受け入れ態勢の充実  
観光PR

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	240	240	342	342		
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097	74,758		
事業費合計		千円	47,401	65,413	65,717	75,100		

**(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】**

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市観光情報ポータルサイト「だてめがね」へのアクセス数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	82,000	86,000	91,000	96,000	100,000
			実績値	85,000	137,925			
			達成率	100.0%	100.0%			

**(2) チェック項目による評価【CHECK】**

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズについてどうか</li> <li>社会的需要についてどうか</li> <li>事務事業の優先度については高いものであるか</li> </ul>	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。姉妹・友好交流都市や伊達氏ゆかりの地、他県でのPRを積極的に実施し誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか</li> <li>市民満足度についてはどうか</li> <li>社会貢献度についてはどうか</li> </ul>	ふくしまプレDCの開催により、基幹産業である農業を活かした体験型観光商品のモニターツアーの実施や阿武隈急行運転体験の実施など、今後の観光誘客促進の効果が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用を抑える工夫は行ったか</li> <li>時間を削減する工夫は行ったか</li> <li>当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか</li> </ul>	市内事業者と連携し、効果的な周遊策を図れた。

**(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】**

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	令和8年度開催のふくしまDC（本番）に向けて、旅前観光として伊達市に旅行に来る動機付けとして魅力あるホームページ、SNSに磨き上げを図る必要がある。
--------	----	-------------------------	--